

水分活性測定装置AW-1/AW-1s/AW-Multi

センサーを正しく使うためのポイント



お手元に届いたら、まず「水分活性校正」

1. 校正が必要な理由

センサー付試料容器(センサー)は、使用していても保管していても、感度が少しづつ変化していきます。そのため、安定した測定を続けるには、「感度を合わせるための日常的な校正」が重要です。

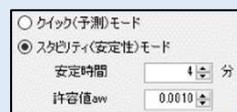
2. 校正の準備

- サンプルの水分活性に近い
飽和塩をご用意ください。



飽和塩の
製品ページはこちら

- 校正は、サンプル測定と同じ条件
(測定環境・設定条件)で行ってください。



- 測定モードごとに校正が必要です。

クリックモード

or

スタビリティモード

※クリックモードの場合は、「水分活性校正」と「応答時間校正」が必要です。
詳細は取扱説明書をご確認ください。

3. 何点校正すればよいか

- 特定のサンプルを測る → 1点校正



1点校正

- 幅広い水分活性のサンプルを測る → 2~3点校正



2~3点校正

4. 校正頻度の目安

精度を維持するためには、**使用する日の測定前に1回校正**することを推奨します*。

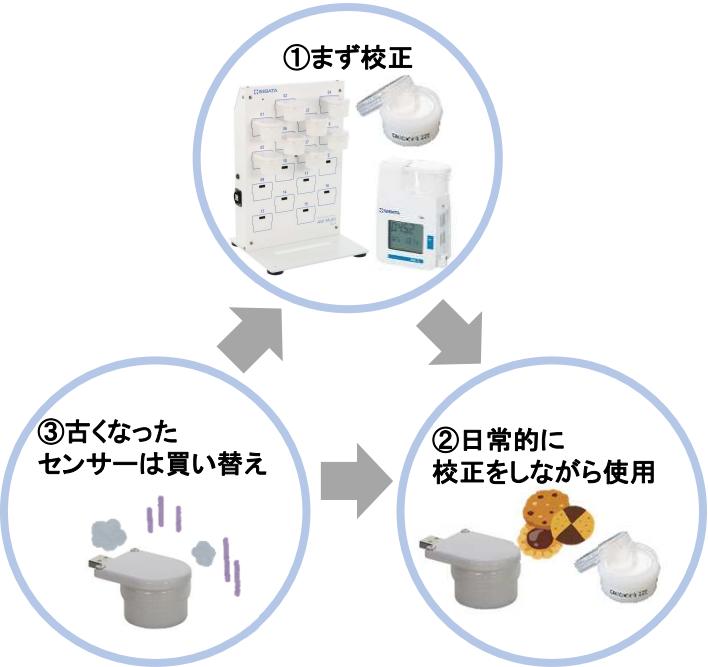
*使用頻度や求める精度により、適切な頻度は異なります。

5. センサー交換の目安

安定した測定のため、
定期的な買い替え(年に1回)を推奨しています。



日常的なセンサー管理



おすすめの保管方法

購入時の状態で保管することを推奨します。

- B型シリカゲルをセット



- 静電気防止袋(銀色の袋)に入れる



柴田科学株式会社

草加本社工場 〒340-0005 埼玉県草加市中根1-1-62
<http://www.sibata.co.jp/>
 発行元:カスタマーリレーション部 マーケティング2課